ご家庭に眠っている食材を寄付してみませんか？

こども食堂支援

フードドライブプロジェクト

11/15(火)
回収〆切

三越伊勢丹グループ労働組合は、SDGsアクションにおける「誰一人　取り残さない」社会の実現や食品ロスの削減を目指し、各家庭で使い　切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめて地域のこども食堂や支援団体へ寄付をする取り組み“こども食堂支援フードドライブプロジェクト”をはじめました。

フードドライブプロジェクトのしくみ

ご家庭
家庭で余っている食材を寄付

▶

労働組合
各支部で寄付食材を回収・保管

▶

組合×むすびえ
各支部毎にむすびえと寄付先を決定

▶

子ども食堂
食堂で活用、必要とする方へ提供

回収日：2022年11月1日(火)～11月15日(火)　必着

回収場所：丸井今井西館2F　三越伊勢丹グループ労働組合事務所

受付時間：10時00分～19時00分

⇒持ち込み

詳しい参加方法は、組合ホームページでチェック！

三越伊勢丹グループ労働組合

IMGU × NPO法人 全国こども食堂支援センター むすびえ

お問合せ：三越伊勢丹グループ労働組合　社会貢献活動担当
（外線：03-5273-5165　内線：801-23-911）
寄付先：NPO法人全国こども食堂支援センター「むすびえ」が連携する団体など

フードドライブプロジェクト報告

詳細

1.日　時：12月1日(木)
2.場　所：こくみん共済北海道会館　子ども食堂北海道ネットワーク
3.寄贈品：乾麺、野菜ジュース、魚の缶詰、
4.寄贈先：ねっこぼっこのいえ
※「ねっこぼっこのいえ」は事務所を構えて運営

子ども食堂ネットワーク北海道とは？

生協内で、こどもの貧困に目を向ける必要があると議論が起こり「こども食堂ネットワーク北海道」を立ち上げ。全道250ある子ども食堂の団体の内約半数の120団体が加盟（札幌市約80団体）。主な取り組みとして、子ども食堂立上相談、運営の教育、寄贈物資の分配を行う。

現在の子ども食堂

コロナ禍以前子ども食堂は、子供たちが集まるコミュニティの役割を担っていた。現在の活動は、お弁当と物資のお渡しのみになっている。多くの団体は、公民館を借りて月に１回運営。